

JILPT 調査シリーズ

No.107

2013年3月

成人の職業スキル・生活スキル・職業意識

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



成人の職業スキル・生活スキル・職業意識

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

昨今のキャリア環境の激変に伴い、労働者の働き方、キャリア形成のあり方には大きな変化がみられる。特に、昨今の人口動態の大きな変化、非正規就労の拡大、雇用の流動化等を受けて、企業等で働く在職者と組織との関わり方は変質しており、以前にもまして重要な課題となっている。

こうしたなか、生涯キャリア発達およびその支援は、従来から継続的な政策課題として受け止められており、国内外で一定の関心をもって検討がなされてきた。

本調査では、そうした一連の研究動向をふまえた上で、成人のスキルと意識に関する基礎的なデータの収集を行うことを目的とした。現在、成人の生涯キャリア発達を考える上で、成人の職業能力開発はよりいっそう重要となっているが、その際、現在の日本において20～50代の成人はどのような職業スキル・生活スキルをもっているのかは改めて重要となるからである。

特に、本調査では、性別×年齢×現在の就労状況を均等に収集した成人サンプルを用いて、日本の成人のスキルの実態を明らかにすることとした。また、スキル政策とキャリアガイダンスの関わりを検討するにあたっては、そもそも成人がいかなる職業意識を抱いているのかも密接に関わる。そこで、成人の職業意識についても検討を行った。

本報告書が、成人の職業スキル・生活スキル・職業意識に関する有意義なデータ・情報を提供し、今後の成人の職業能力開発を考える上での一助となれば幸いである。

2013年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 山 口 浩 一 郎

執筆担当者

氏名

所属

下村 英雄

労働政策研究・研修機構 主任研究員

調査の企画・実施

松本 安彦 労働政策研究・研修機構 キャリア支援部門 統括研究員

下村 英雄 労働政策研究・研修機構 キャリア支援部門 主任研究員

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の背景および目的	1
2. 研究の方法	2
3. 結果の概要	3
4. 政策的インプリケーション	11
第2章 成人の職業スキルー仕事上で自信のある事から	13
第3章 成人の生活スキル	43
第4章 成人の学習経験	75
第5章 成人の後悔	90
第6章 成人の自尊感情・抑うつ感情	104
資料	
調査票	123